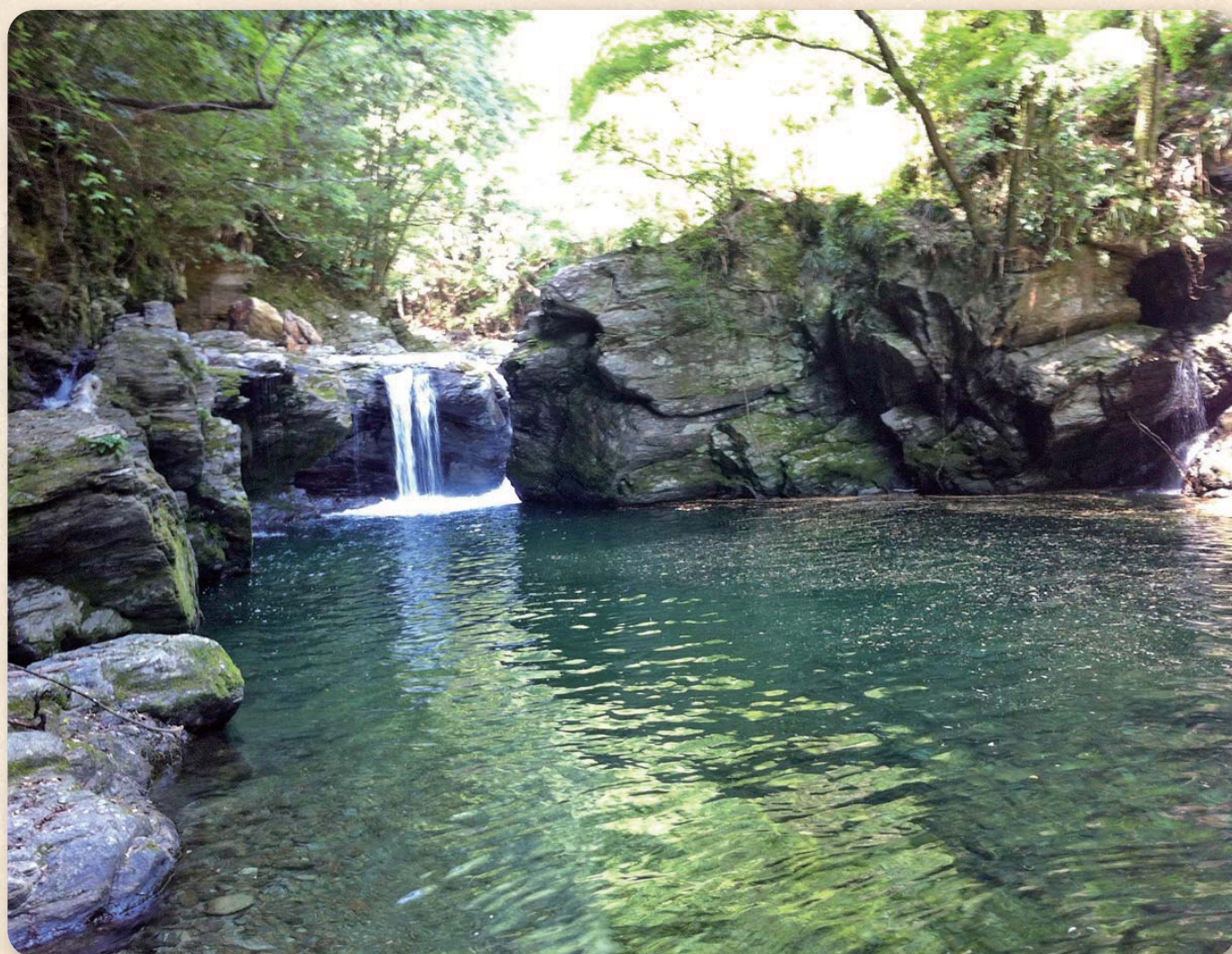


(一社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562 FAX(053)925-6468
電子メールアドレス jimuty@tenkenkyo.net ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>
編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦



竜神伝説が語られている阿多古川の滝(天竜区東藤平)

「昔、阿多古で雨が降らなくなった時、川の瀬戸淵に住む笛好きの竜神様のもとに笛吹き若者が行き、雨乞いのために笛を吹くと淵の中から女が現れ、竜神様は病気なので笛の音で治してほしいと言われた。若者は竜神のいる竜宮城で笛を吹き、病気を治した。すると雨が降り、以後幸せが続いた。」との言い伝えがあります。

CONTENTS

協会ダイジェスト	2
中部ライフガードTEC2019「防災・減災・危機管理展」の視察 ..	3
天浜線の旅	4
ちょっとおすすめグルメ／かんとくさん	6
建設ギャラリー／災害危険箇所調査の実施／最近のキーワード ..	7
マイファミリー／コーヒーブレイク	8

上期 協会のダイジェスト

令和元年度 定時総会を開催



長谷川 智彦 会長

令和元年5月22日（水）、通常総会を開催しました。

長谷川会長はあいさつの中で、「生産年齢人口が減少している中、建設業においても将来の担い手不足が深刻になっている。若手の入職を促すためには、週休二日制の完全実施、時間外労働の制限など働き方改革を進めることが必要であり、建設業においては5年間猶予されたものの待ったなしの状況となっている。

当協会としても、浜松市の「建設業キャリア講座」への協力や、県立天竜高校土木実習授業への講師派遣、親子現場見学会の開催等、微力ではあるが担い手育成に皆さんとともに積極的に取り組んでいきたい。」と話しました。その後、平成30年度事業報告と決算案について審議し、その結果全会一致で承認されました。

行政機関との意見交換会開催

会員の知識・経験の活用を要望

5月から6月にかけて国、県、市との意見交換会を開催しました。

当協会からは、天竜地域を守る建設業者の持続的な経営のための予算確保や働き方改革実現の基礎となる適正な工期設定と施工時期の平準化、大規模災害時の通信手段の確保等について要望し、意見交換しました。



行政幹部職員との意見交換会

また、天竜区内は中山間地特有の現場が多く、設計内容と現場が噛みあわなくて手戻りとなるケースがしばしば発生していることから、こうした現場に長年携わってきた会員の知識・経験を提供する窓口を協会に設置したことを各行政機関に伝え、積極的な活用をお願いしました。

安全祈願祭・安全大会を開催

工事故根絶を誓う

7月2日、協会と防災防天竜分会は、来賓・会員49名の出席のもと、秋葉神社上社において令和元年度安全祈願祭・安全大会を開催しました。



秋葉神社上社での安全祈願祭

昨年度は天竜区管内において多くの工事故が発生したことから、長谷川会長からはリスク管理の徹底による工事故の撲滅を、会員に強く呼び掛けました。

また、黒川安全委員長は、6月に開催された県浜松土木事務所との「工事故根絶についての意見交換会」の状況を報告するとともに、本年8月から施行される伐木作業等の安全対策の強化について注意喚起をしました。

この後、表彰式を行い、優良事業所3社と安全標語の優秀作品3点を表彰しました。

天竜高校の土木授業に講師派遣

若年入職者の確保・育成

静岡県立天竜高校の土木授業に、当協会のベテラン技術者を講師として派遣する取組がスタートしました。

この取組は、昨年度から天竜高校の要請を受けて実施しているもので、当協会としては天竜区の建設業を支える若年入職者の確保・育成につなげるため、積極的に支援しているものです。

今年度は長谷川会長の天龍土建工業（株）から講師を派遣、進路決定前の環境科2年13名を対象として、10月までに6回程度講師を派遣する予定です。

初日は阿多古協同組合の生コン工場と天竜草木リサイクルセンターを見学した後、実習室において長谷川会長が



阿多古生コン工場見学

建設業のあらましを、浜中氏がコンクリート施工実習の内容を説明しました。2回目以降は、型枠組立の実習に取り掛かっています。



視察するブースを吟味する一行

▼はじめに
五月三十日（木）、天竜建設業協会企画青年委員会の活動で、柏崎委員長をはじめ各地区委員七名で第七回中部ライフガードTEC2019「防災・減災・危機管理展」の視察を実施しました。今回の展示会は、ポルトメッセなどにおいて名古屋国際見本委員会、（公財）名古屋産業振興公社主催、国土交通省中部地方整備局共催、内閣府、農水省、経産省、消防庁等の後援の元、多数の企業が出展し盛大に開催されていました。

企画青年委員会 視察研修会 中部ライフガードTEC2019 「防災・減災・危機管理展」の視察 企画青年委員会委員



ポータブル蓄電システムの見学

出展内容は、BCP・BCM関連、避難・備蓄対策をメインとして、地震・風・水・雷害対策、インフラ整備・長寿命化対策、IT・システム関連、ロボット・ドローン関連や労働安全対策等多岐にわたる展示となっていて、各フロアに報道関係者、各種団体、たぶん同業者（日焼けの具合から）らが興味深く説明を聞いたり製品を手にとっていました。



一番盛り上がった「チェーン式連続集材装置」の見学

出展内容は、BCP・BCM関連、避難・備蓄対策をメインとして、地震・風・水・雷害対策、インフラ整備・長寿命化対策、IT・システム関連、ロボット・ドローン関連や労働安全対策等多岐にわたる展示となっていて、各フロアに報道関係者、各種団体、たぶん同業者（日焼けの具合から）らが興味深く説明を聞いたり製品を手にとっていました。



山間部での活用が期待できる新開発の集材装置

▼印象的な展示品として

今回出展された数は企業、団体含め77件ありましたが、建設業者の視点からするとどうしてもドローン、マルチコプターによる撮影から点群データの解析、カメラのクラウド管理等に目が行きがちですが、今回同行した委員が一番盛り上がったのはチェーン式連続集材装置なるものでした。さすが山間部の業者さんだと我ながら感心しました。簡単に安全に集材ができるもので今年中に発売予定だそうです。詳しくは私以外の委員に聞いてみてください。

▼まとめ

伊勢湾台風から六十年が過ぎ、その後も毎年のように大規模な災害が発生して、多くの人々が犠牲になったり被災しているのが現状です。また、BCP（事業継続計画）を各公共団体が企業に対して策定の支援をしています。各委員、会社に戻り今回視察した内容を報告し皆で理解し、企業が自然災害等の緊急事態に遭遇した際に、事業資産の損害を最小限にとどめるような準備をしていかなければならないと思いました。



1959.9伊勢湾台風襲来から60年…

（参加メンバー）
柏崎（委員長）、道林尚人、石川知弘
古山美津樹、高木学、松下進介
竹内大詞、松本博文

天浜線の旅

ふたまたの見処・味処

第四回 二俣駅周辺

広報委員 天龍土建工業(株) 福田 匠

▼はじめに

7月31日、天竜建設業協会広報委員四人で、二俣町内を散策しながら取材して参りました。

この日、天竜区二俣町地内は、35度の猛暑で、命懸けの取材でした。



只今の気温35℃

▼袴田喜長頌徳碑

最初に二俣の町を水害から守ってくれた袴田喜長碑を訪ねました。この碑は、1984年(昭和59年)に袴田喜長の功績をたたえ、二俣川掘割現地の二俣南口に頌徳碑が建てられました。



袴田石碑

二俣村は、大雨によって天竜川が増水するたびに、村中を流れる二俣川が逆流し大変な被害を受けました。

袴田喜長は、現在の河口を苦勞の末に掘り割り河川を付け替え、水害から村を救いました。工事には、延べ2万3千人が加わり、袴田喜長は、私財を投じて二俣川の改修工事に取り組みました。



二俣川

▼Fukucacafé(フクカフェ)

汗びっしょりでフクカフェに到着。日光天然の水で作るふわふわできめ細かい氷は、今まで食べたかき氷とは全く別物。暑い日は、天竜区二俣町まで足を運んでも食べたくなくなってしまふ、そんなかき氷です。



衝撃的なふわふわ感のかき氷



カフェ玄関に立つ清水委員長

▼二光滝

フクカフェの前に二光滝があります。この二光滝の「二光」とは、二俣の「二」と光明の「光」です。



二光滝

近くに鳥居があり、コンクリート製の急な階段が右へ左へ折れ続いていました。



小角役行者尊



山頂（烏帽子山）からみる二俣の街並み

ここから眺めた二俣の街並み景色は大変きれいでした。



石仏

ようやく辿り着いた所は、少しだけ広く平らな場所があり、そこに古そうな石仏がありました。勇気があったら、登ってみて下さい。



陸軍中野学校二俣分校跡碑

▼**陸軍中野学校二俣分校跡碑**
《伝説の日本男児 小野田元陸軍少尉》
次に訪れたのは陸軍中野学校二俣分校の跡碑です。
陸軍中野学校は、諜報や防諜宣伝など秘密戦に関する教育や訓練を目的とした大日本帝国陸軍の軍学校情報機関でしたが、二俣分校はそこでもゲリラ戦術・破壊工作の訓練を目的に設置されました。戦争が終わった後も30年近くフィリピン島のパンゲ島に残り、戦い続けた故小野田寛郎少尉が、こちらの卒業生です。有名な話ですね。
現在では分校のあった場所が、浜松市天竜区役所南館となっております。



登録有形文化財「ヤマタケの蔵」

▼ヤマタケの蔵



テレビ放映された「まるかわの蔵」

▼マルカワの蔵

こちらは、約130年前の明治時代に呉服屋として建てられたもので、その後は酒屋として栄えました。店先には酒樽や酒瓶が並べられ、住時の風情が維持されています。

ヤマタケの蔵は、材木商など営んでいた内山家が、明治前期から大正時代にかけて建造した蔵です。木造2階建ての新蔵は、1923年に衣装部屋として建てられ、外観は石造り風ながらスギやヒノキの良材をふんだんに使っています。南側の蔵は、レンガ造り平屋建て。内部は、使用人部屋、トイレ、倉庫に仕切られています。北側の蔵は、土蔵造り一部平屋の2階建てで、外壁は、しっくい塗られています。和くぎを使っているため、明治時代前半に建築されたとみられます。

▼さいごに

今回二俣町内を歩いてみました。立ち止まってみますと、普段見慣れたところにも、たくさんの味処・見処がある事を改めて感じました。今回は、ほんの一部の紹介でありましたが、まだまだ皆さんの歴史ある施設等があります。

是非、皆さんも二俣の街並みを散策してみ、レトロな雰囲気のある建物を見ながら楽しんでほしいと思います。



ちよこ

おすすめグルメ

広報委員 森下

達登

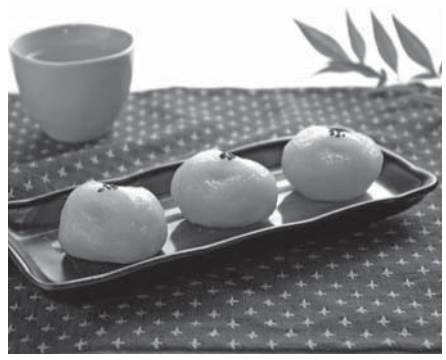
◆和菓子の月花園◆

今回は春野の老舗和菓子屋『月花園』をご紹介します。



昭和5年創業「月花園」

代表作は白あん菓子「青ねり」です。



代表作「青ねり」

80年程前に春野の銘菓を作るべく、和菓子職人達が集い研究を重ね、生まれたもので、形は秋葉山と下流に流れる川を、色は新茶を、中身は気田川の清流をイメージした白あんです。(3代目瀬戸氏談)

見た目はきれいな緑色で上にゴマが数粒乗っています。食してみると甘さ控え目な白餡と外側の皮がとてもモチモチしています。食べ進めるとゴマの風味が効いて大変美味しく頂きました。

また、先々代の頃に秋葉神社のお土産を考案してくれないかとの依頼を受け誕生した「秋葉さん最中」も長年愛されている自信作です。



自信作「秋葉さん最中」

最後に37年前に町おこしの一環として巨大な天狗面が春野山村開発センターに設置されたのを機に先代が考案した「天狗饅頭」も甘さ控え目で絶品です。

現在は3代目が伝統を受け継ぎアレンジを加えた「キウイ青ねり」等も好評です。



アレンジ作「キウイ青ねり」



絶品「天狗饅頭」

浜松方面からは(国) 362号若身橋信号を右折(袋井・森方面へ) 30mほどで到着です。ぜひ一度味わって下さい。

住所 〒437-0625 浜松市天竜区春野町堀之内973-4
営業時間 8時〜19時
定休日 ほぼ年中無休
電話 053-985-0014

かんとくさん



静岡県西部農林事務所
天竜農林局森林経営課
白井 実栗

平成31年4月より天竜農林局森林経営課に配属され、主に林道工事の発注や監督等の業務を行っています。天竜地域に訪れたのは初めてで、仕事も地理もわからないことが沢山ありますが、職場の先輩方のお世話になりながら日々業務に取り組んでいます。

天竜は深い青や碧に澄んだ綺麗な川や、充実した森林資源に恵まれており、現場へ赴く際には、美しい自然が豊かな地域の特色を肌で感じています。美しい自然を守り、森林整備や林業、地域の方々のより良い暮らしに、林道整備を通じて貢献していけるよう頑張りたいです。

経験を重ねて仕事への理解を深め、早く一人前になれるよう精進したいと思っています。現場の方々にはご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

建設ギャラリー

工事名称 平成30年度 森林環境保全整備 地八吉沢線5工区工事
工事場所 浜松市天竜区佐久間町浦川
工期 平成30年8月24日～令和元年6月17日
発注者 静岡県 西部農林事務所
施工業者 株式会社 浦川建設
工事概要 ・林道開設 延長L=31m 幅員W=4m ・岩石掘削V=2,597m³
 ・モルタル吹付工A=616.7m² ・重力式擁壁工V=56.8m³
 ・コンクリート路面工A=135m²

工事金額の約40%を占める岩石掘削は、最大掘削高が20mを超えるものでした。

随所に現れる硬岩質な部分には進捗上かなり悩まされました。

また、掘削の進行に併せて、岩石片の緩んだ箇所や、浮石の除去を定期的に時間をかけて実施したことにより、落石による事故を防ぎつつ、無事に竣工を迎えることができました。



災害危険箇所調査の実施 県・市土木事務所に報告

企画青年委員会は6月下旬、災害時に備えた災害危険箇所調査を、5地区（天竜、龍山、春野、佐久間、水窪）で実施しました。

この調査は県浜松土木からの依頼を受けて平成28年度から始めたもので、今年度天竜地区では、前年度までの危険度Aの再点検と、国道152号（鹿島八幡神社～秋葉トンネル間）及び渡ヶ島横山線の2路線を全3班に分かれて調査、65箇所の危険箇所を洗い出し、5地区全体としては134箇所の調査報告をまとめました。



徒歩で調査をする企画青年委員

この調査結果は、河川・道路ごとに整理し、柏崎委員長が8月5日に県・市土木に報告、被災時の迅速な応急復旧への活用を要望しました。

最近のキーワード

「特定技能外国人」

深刻化する人手不足を解消するため、改正出入国管理法の施行により外国人材を受け入れる新たな在留資格「特定技能」が創設された。

建設分野の受け入れ対象職種は▽型枠施工▽左官▽コンクリート圧送▽トンネル推進工▽建設機械施工▽土工▽屋根ふき▽電気通信▽鉄筋施工▽鉄筋継手▽内装仕上げの11職種。国土交通省はさらに、▽とび▽建設塗装（建築・土木）▽配管▽建築大工▽溶接なども追加する方向で調整を進めている。

建設分野で特定技能外国人を受け入れるには、さまざまなハードルがある。大前提となるのは「受入計画の作成と国土交通大臣による審査・認定」が必要な点。特定技能外国人受入事業実施法人（建設技能人材機構）への加入や受入企業と特定技能外国人の建設キャリアアップシステムへの登録、同一技能の日本人と同等額以上の安定的な賃金支払いなどが認定基準だ。

この受入計画について国土交通省は、鉄筋施工とコンクリート圧送、内装仕上げの3職種で申請があった5件（5社・9人）を7月30日に初認定した。法務大臣による入国審査が通れば特定技能1号外国人として最長5年在留でき、技能検定などの上級試験をパスすれば在留期間の更新が無制限となる特定技能2号の道も用意される。

技能実習、建設就労者受入事業など外国人の在留にまつわる制度が目まぐるしく変わる中、違いをよく理解して経営に生かしていきたい。

我が家には2人の娘がいます。長女向日葵^{ひまり}4歳(年中)、次女なずな1歳です。
長女は幼稚園に通うようになってからですが若干しつかりしてきました。同級生が3人と少ないですが皆仲良く、安心しています。
次女は最近歩くようになり目が離せません。お風呂は大好きで水も怖がる事がないので、ついつい長湯になり私の方がのぼせてしまいます。



正光建設(株)
片桐 正臣

休日に佐久間ダムの電力館に行き「やまびこポイント」で山に向かって叫んでやまびこを初体験しました。昼食は、近くの河川敷にて家でつくったおにぎりを食べた後、山菜取りに行き帰宅しました。夕飯は山で収穫した山菜の天ぷらを2人の娘は大変気に入ったらしくすべてた。いらいしてしまいました。
今後自然の中でのびのびと元気に育てていきたいと思っています。



COFFEE BREAK



浜松磐田信用金庫鹿島支店
市川 楓笑

こんにちは。浜松磐田信用金庫鹿島支店の市川楓笑です。私は高校を卒業し、入庫して5年目になります。この春、鹿島支店へ異動となり窓口係として働いています。
異動してきて4ヶ月が経ちますが、お客様みなさんがやさしく声をかけてくださるので、とても安心して業務に取り組むことができています。
去年は合併もあり、合併から半年以上経っています。

ですが、慣れないこと、分からないことがまだまだたくさんあります。
合併と異動と慣れない環境の中ではありますが、お客様のお役に立つ情報を提供できるように知識の習得やお客様のご要望に的確かつスピーディーに対応することができるよう、日々精進していきたいと思います。
浜松磐田信用金庫では、職員一同、お客様に気持ちよくお帰りいただけますよう笑顔での対応を心掛けています。
みなさまのご来店を心よりお待ちしております。



土木施工管理技士の皆様へ

建通 動画

自宅でも、現場でも
ネット環境さえあれば
動画でラクラク、

CPDS6ユニットが無料でとれる!!

特長
その1

CPDS認定動画

CPDSは、全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度です。本サイトのCPDS認定動画は、同会のプログラム認定(インターネット学習)を受けています。
この動画を視聴し、受講証明書を提出することで、CPDSのユニットを取得でき、公共工事の入札や入札参加登録時に加点されます。



簡単操作でCPDSユニット取得!



セミナーや研修会に参加することなく、WEB上で受講できます。

時間と場所の制約がないので多忙な毎日を送る技術者の皆さまに最適です。

※本サイトで発行する受講証明書を提出することで、全国土木施工管理技士会連合会のCPDSのユニットを取得できます。
また、建設コンサルタンツ協会や土木学会など、その他の建設系CPD協議会加盟団体の継続学習でも単位を取得できることがあります。詳細は各加盟団体へお問い合わせください。

忙しい
皆さまに
最適です!

無料の動画でCPDSがとれる
「建設技術・工法動画サイト」

<https://cpds.kentsu.co.jp>

株式会社 建通新聞社